

大阪市市民活動推進助成事業 最終報告



UI5のための

防災カレッジ **2021**

子どものチカラで大阪を **防災力日本一** に!



【事業目的】

子どものポテンシャルに立脚した子ども期からの防災教育

- ① 地域で過ごす時間が長い
- ② 地域と人をよく知っている
- ③ 子ども独特の人のつながりがある(子ども→子ども、先生、親→社会)
- ④ 成長と共に社会への関心と関係性が強まる時期

防災力を構成するもの

- ① 災害に立ち向かう勇氣
- ② 災害のメカニズム、防災の基礎知識
- ③ 社会への関心
- ④ 仲間に共感する力
- ⑤ 仲間と協働する力
- ⑥ 社会へ発信する力

めざす姿

- ① 自分たちの大阪を**災害に強い、防災力日本一のまち**にする
- ② 第一ゴールは**2025年**
(万博ゲストの安全安心に貢献、子どもの活躍、世界への発信)



【事業構成】

U15のための防災カレッジ 全24講座、参加者総数159組376名

子どもの年齢や防災への関心、理解度に応じて自由に組み合わせて受講できる

① 会場参加 ② ライブ配信(zoom) ③ 動画学習(eラーニング)に対応

いつでも、どこでも、何度でも

大阪ジュニア防災検定【新規】 12月12日Web実施、受験者45名

防災の基礎知識×大阪の地理、歴史、災害リスクへの理解度を総合判定

防災×ジュニア×地域をつなぐ防災検定では全国初(内閣府防災担当)

① 防災の基礎知識、最新情報 ② 各講座からの出題

③ 大阪の地理、歴史に因んだ出題

合計25問、試験時間40分、平均点59点、子どもの満点者なし

防災専門家会議【新規】 計3回

大阪公立大学生田教授を座長＋地域防災活動の研究者、実践者

事業の持続発展、地域～全国展開を議論

防災コミュニティの運営(公式LINEアカウント) 登録者131名、配信20件

最新の防災情報や災害に関連する情報を発信、共有

例:ノーベル物理学賞受賞と気象災害、ヨーロッパ襲う「水爆弾」(集中豪雨、大雨)、避難情報に

関するガイドライン改定(内閣府)、コロナ禍で想定される複合災害への備えなど

【事業実績】

U15のための防災カレッジ 全24講座、参加者総数159組376名
 子どもの年齢や防災への関心、理解度に応じて自由に組み合わせ受講できる
 ① 会場参加 ② ライブ配信(zoom) ③ 動画学習(eラーニング)に対応
 「いつでも、どこでも、何度でも」を可能にした防災学習

★ベーシック【防災の基礎×地域性×ゲーム】 82組、184名

- 第1回 6/27(日) 災害を知って正しく備えよう
 +いつ・どこ防災ゲーム(団体オリジナル)
- 第2回 7/11(日) 知恵を集めてピンチを乗り越えよう
 +ナマズの学校
- 第3回 8/8(日) もしも学校が避難所になったら
 +避難所運営ゲーム(HUG)



★アドバンス【防災の発信力、創造力を磨く】48組、119名

- 第1回 7/11(日) ユニバーサルデザインで伝えよう
+防災啓発の看板づくり
- 第2回 8/8(日) LINEスタンプをつくって広めよう
+スタンプ作成
- 第3回 8/20(日) 気象災害を予測しよう
+天気図の読解、台風の進路予測
- 第4回 10/30(土) 世界の仲間とつながろう
+ドイツ青少年消防団との交流



★ユニバーサルキッチン【食の多様性×防災】 22組58名

第1回 6/13(日) アルファ化米でいなり寿司
+ 梅雨時の食品衛生、食物アレルギー対応

第2回 8/29(日) アルファ化米でパエリア
+ 夏バテ、食欲のない時の工夫、熱中症対策

第3回 1/16(日) アルファ化米でお団子いろいろ
+ 調理器具や水を節約する工夫、屋外調理



★プロフェッショナル【防災のプロに会いに行く】7組15名

- 7/30(金) 大阪市特別救助隊訓練見学【中止】
- 8/15(日) 両川口大地震津浪記石碑保存会訪問【中止】
- 3/25(金) 大阪市住之江抽水所【中止】

第1回 8/2(月) 大阪を水害から守るプロフェッショナル
@津波高潮ステーションと安治川水門



【広報実績】

チラシ発送

- ① 市関係 65か所(危機管理室、区役所、区民センター等)
- ② 市立幼稚園、小学校、中学校 470校園
- ③ 私立幼稚園、小学校、中学校 35か所
- ④ 防災関係 10か所(阿倍野防災センター、津波高潮ステーション、大学等)

メディア掲載・取材

- ① 産経新聞(6/7ネットニュース、6/8朝刊)
- ② 読売テレビ取材(7/11)
- ③ 大阪日日新聞(8/28 防災特集)
- ④ 関西テレビ(1/10 報道ランナー防災スペシャル)
- ⑤ アベマTV(1/14 若者の防災意識特番)
- ⑥ COMVO(2022.3月号)



【子ども・保護者の意識と行動変容】

子ども

●カレッジの「楽しい」ところはどこですか？

→学校で詳しく教えてもらえない防災の勉強ができること

●家族や友達と防災の話をしますか？

→家族とは、どこに避難するか？何を備蓄しているかを話すようになった
友達や先生にカレッジで習ったクイズを出したら、ためになったと言われて嬉しかった

●防災を学んでいてよかったことは？

→備えると安心な気持ちになるし、防災検定でいい点がとれたからハッピー！

保護者

●「U15のための防災カレッジ」受講のきっかけはなんですか？

→私自身が防災を学ぶきっかけになった。子どもたちと一緒に学べるところがよい

●受講後、お子さんの防災意識に変化はありましたか？

→天気予報や台風発生ニュースを以前より注目して見るようになった
「社会科」の教科書に日本一大きな川のことや日本三大暴れ川のことが出てきて、
単に名前を覚えるだけでなく、その地域の水害や土砂災害について家族で話した
学校で習ったことを防災を軸により深く考える習慣がつくのがよい

【振り返り】

コロナ禍の影響

- ① コロナ禍による休館、貸出中止
- ② オンライン学習の定着→zoomライブ受講が増加
- ③ オンデマンド学習の定着→動画学習が増加

大きな波及効果

- ① メディア取材(NHK、関西テレビ、アベマTV、産経新聞など)
- ② 教育、市民活動表彰(博報堂教育財団、大阪市)
- ③ 登壇(オンライン市役所、よんなな防災会:防災の全国組織、メタバース、万博Youtube)
- ④ 講師依頼(区役所、聴覚障がい児・児童発達支援施設)
- ⑤ 事業連携(UR都市機構、いきいき財団、中学、高校、大学、JCOM)

【つながれば、強くなる】を実感

➔U15のための防災カレッジ2022





【大阪市長賞】受賞記念
お子様100名無料ご招待！

防災学習のファーストタッチを応援！
ベーシックのオンライン講座が対象です。

未来の大阪の防災をリードする
ジュニア防災キャプテン
になろう！



【2022年以降の未来予想図】

コロナ禍の影響つづく

- ① 感染防止策の徹底
- ② 受講機会の多様化(オンライン、オンデマンド、メタバース)
- ③ 屋外での活動

新たなパートナーシップ

- ① UR都市機構(うめきた防災公園整備につながる防災カレッジの継続実施)
- ② 北大阪急行(豊中エリアでの事業展開)
- ③ 子育て情報メディア(ママトリエ、子どもトリニティネットとの事業連携、防災協定の締結)
- ④ 2025日本国際博覧会協会(Team EXPO共創チャレンジ)
- ⑤ メタバース関連企業(ガイアリンク、monoAIテクノロジー)

×防災で可能性を切り拓く

- ① スポーツ(FC大阪、シュライカー大阪)
- ② 子どもミュージカル(子ども劇団「やまのうち」)
- ③ プロギング(スウェーデン発祥のゴミ拾いジョギング)